

大美哲学

感謝、感動、感性、3つの「感」で より豊かな社会づくりに貢献する。

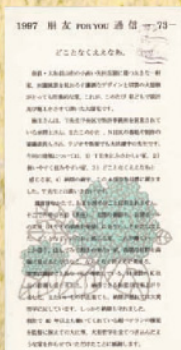
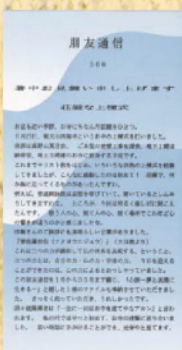
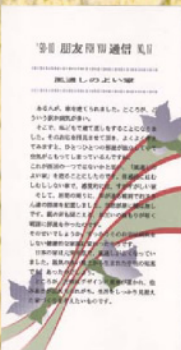
私たちは、建築を業（なりわい）としています。住まいをつくり、店舗をつくり、オフィスビルをつくり、工場をつくり、それがひいては都市空間をつくりあげ、ひとが気持ちよく生活できる社会づくりに貢献しています。

私たちのこの仕事の根底に流れるもの、それが3つの「感」。

ひとつが「感謝」。これには2つの面があります。「数ある建築業者のなかから、私どもを選んでいただきありがとうございます」という、仕事をさせていただける喜び。そして、建物を建ててお客さまから「いい家を建ててくれてありがとう」と感謝していただける仕事をする事。

二つめは「感動」。感動とは心が動くこと。お客さまからの要望通りのものを仕上げるのは当たり前。要求以上のものがさりげなく提案でき、こそ、建築のプロ。たとえば、工期を短縮したり、思わぬデザインを引き出したり、とプロの視点から生み出した新しい提案をお客さまに見せします。

三つめは「感性」。言い換えれば感受性。社会やものごとや心の動きをすばやくとらえ、即仕事に反映させます。お客さまが望んでおられることや時代が求めていることをくみ取る鋭い感性が完成度の高い仕事を生みます。



平成元年5月より始めた、社長からのお便り「朋友通信」。

